

広報 ごじようめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876)代 2100番
印刷所 湖 東 印 刷 所 電話(018876) 2430番 一部 5円
郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行



五城目町長

加賀谷力司

年頭にあたって

「住みよい、暮しやすい、魅力ある」町づくりは、総合開

町民の皆さま
明けましておめで
とうございます。
新春にあたり、
皆さまの一層のご
健康とご活躍をお
祈り申し上げます
おかげさまで、
町づくりも町の総
合開発計画の線に
添って順調に推移
しております。

発計画の目標とするところでありますが、今年は磯ノ目大橋、室内温水プール、林業協業センター、町村農村公園等が姿を現わすのはじめ、ごみ処理場、役場庁舎の改築工事、後線林道のスタート、そして、町部の中央線道路改良工事、雀館線道路改良工事、磯ノ目地区区画整理事業、雀館運動公園築造工事、公営住宅建設等を進めながら、農村部については、農村総合整備モデル事業、農道整備事業、林構事業等にのせて、生産基盤と環境基盤の整備をなお一層進めたいと思います。

このほか、町民福祉の増進、教育の振興、地場産業の振興等、やらなければならぬことがたくさんあります。

長期化した経済不況は、町内産業の各面に深刻な影響を及ぼしており、これに伴い、地方財政もまた、ひっ迫の度を加えておりますが、このような時にこそ町の社会資本の充実ははかり、総合開発計画にある目標に向かって、渾身の努力を傾注すべきであると考えております。

皆さまの一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



(広報紙中にある写真を欲しい方には
おあげします)

新春座談会

職人の町に生きる

この町の発展はその昔から職人たちの技術に支えられてきたところが大きい。それが森林資源をバックにした家具・建具であり、桐樽であり、そして木こりから製材所の産業を興した。

一方では、大工、佐官、蹄鉄も町民の生活に欠かれない

る

存在であつたし、そしてこれらの職人たちと農業も含めて、その道具を提供してきたものに、野鍛冶がある。

職種による盛衰はあるものの、全国的に画一化されている製作品が多い中で、これらの人々はこの町の職人たちでなければできない伝統技術をしつかりと守り続け、個性のある製品を生み出している。

新春にあたり、職人の町五城目に生きるこれらの人々から伝統技術について大いに語ってもらった。

座談会

司会：あけ
ましておめ
でござ



石井金之助



永 沢 政治郎



坂谷俊一



武 佐 遊



伊藤卓治

と伝統技術を支えてきたみなさんにお集まりいただきまして、職人の町に生きると題しまして座談会を計画したところ、ご協力くださいましてありがとうございます。はじめ、この企画のネライどころを町長からひとつお願いします。

高い文化的素養

町長 今日はお忙しいところありますがとうございました。

実は昨年の産業文化祭のときにみなさんの作品は大変立派なものだったので、一般の方々の陳列でしたが、一般の方々の絵画、書道、手芸など出品者も、こんなに沢山のいるのかとびっくりしたわけです。

あの文化的な、試行的な試作的なもの、高い水準になって始めて手づくりの立派なものが出てくるのではないかと思いましたが、みなさんがお作りになっている作品も、文化的な素養なり、関心なり、そういう要素がやがて形となって表現されるものだなあと、あの時感心したわけです。

無名の名作―石物

昔は画家であるとか、金工であ

るとかを芸術家と称してますが、前に述べたような面からの考えから考えてみると、昔は全部職人であつたんだろうと思います。

私の写真を撮らせていますが、これは道路を切り開いたりなどのとき、無造作に投げ捨てられるのを見て、これは大変だと思い、記録の必要性を感じたわけです。

この石物は名もない職人が作ったものですが、非常に立派で心の打たれるものがあるんです。

職人は芸術家のはじまり

今の時代になると、芸術家とか
なにか恭敬されていますが、言
ってみれば、みな職人なわけだ
と、職人というと芸術家より一段
下のようにわれわれはじめ解釈し
がちですが、私は、職人というの
は非常に高い水準の技術と思想
をもった人々と受けとめていいの
じゃないかと思えます。

町民に手づくりの
良さを認識させたい

そういう目でみると、東京あたりの機械で作ったものより、職人の手で作ったものが違ったところがあるし、味わいも深い。このような点をもっとも町内のみなさんから理解してもらう必要があるのだらうと思うわけです。

また町内に沢山の職人がおって石井さん、長谷川さんなどそれぞれ現代の名工として大臣や全国協会の表彰を受けていますが毎日見慣れているせいか、あまりその価値を認めていないかも知れません、そうではないのだということを、新春にあたり町内のみなさんから考えてもらいたいと思っています、この企画をしたわけです。

司会：大変次元の高い芸術的な素養の上に、五城目の職人さんたちが位置していることがわかりました。はじめにみなさんから、自分

学校の先生から一転指物師志向

の職歴と仕事の現状を、リラクセスした形で述べてもらいたいと思います。石井さんからひとつ。

石井：私の少年時代は学校の先生になるのが志望で、郡立準教員養成所に入ったわけです。

養成所の修学旅行が十和田湖でしたが、その旅費三円がなくて参加することができないほど家が貧しくて、母親が借りてやるから旅行へみなさんと一緒に行つてくるようにと、しきりにすすめてくれたが、家の事情がわかりすぎたのであきらめたわけだ。あのととき恵士(磯ノ目)で、流れの雲を仰ぎながら、思いっきりくやし泣きしたことを今でも忘れることはできません。

東京で総桐タンスの修業

私はこの旅行のくやしき、金の
ないみじめさにしたたか打ちのめ
されてから、教員志望はすっぱり

出席者 (敬称略)

石	井	金	之助	(タンス)
泉	谷	時	治	(建具)
坂	谷	俊	一	(櫛・樽)
長	谷	藤	之助	(鍛冶)
永	沢	政	治郎	(御矢師)
金	子	喜	三郎	(木竹工芸)
遊	佐		武	(蹄鉄)
町	長	加賀	谷	力司
司	会	伊藤	卓	治(役助)

つと修業しなかったのですが、家からは帰れ帰れの矢の催促で、やむを得なくやめて町に帰ってきたわけです。その理由は貯えがなく明日からの日銭を稼ぐ必要からでした。

てはみたものの、買ってくれる人がおらないわけです。当事石井タンス屋さんが開業したばかりでしたので、私は当時の町長さんであった渡辺全之助さんにお世話をしてもらい、東京で修業した技術が売れたわけですよ。

しかし、その後も桐タンスの売れ行きはよくなかったのです。塗りタンス、前桐タンスを作る合間に桐タンスを作ったものです。

菅沢さん桐タンスの講義を開く

当時秋田県物産陳列所がありましたので、そこへ委託販売をしたわけです。ところがその頃、秋田県で総桐タンスを作るのは、湯沢の川島兵蔵ただ一人でしたので、陳列所に出せば売れる、出せば売れるで桐タンスブームがおきていました。

それから二、三年後、菅沢海蔵さんが、役場から百円、県から百五十円の補助金をもらい、東京から百ら講師を呼んで総桐タンス製作の講習を開いたのが、この町の桐タンス製作技術の向上につながった。

わけてす。

司会：次は永沢さんからお願ひします。

永沢：職人の生い立ちには言わなくともよくわかるでしょうが、われわれ年輩の職人はやはり苦労いたしました。

この頃ようやく自分らしい仕事ができるようになったと思っています。

司会：それでは坂谷さんから。

三代目一四十一一筋に

坂谷：私は三代目の桶作りですが昭和十二年高等科二年を卒業してからこの道一筋です。当時は不況の盛りなときでしたが、たまたま同級生に職人の長男が多かったせいだか、あまり抵抗なく家業を継いだ形で、いろいろ希望もありました。後を継ぐのが当然だということ、卒業式の翌日から手伝いして現在にいたっているわけです。

数えてみれば四十一年も過ぎていますが、仕事は家庭で使う桶専門というところです。

司会：仕事の状況はどうですか。

坂谷：私が若い頃は、桶と名の付くものが随分と種類もありましたが、現在は五種類か六種類ぐらいのもので、この間随分浮き沈みがあったように感じます。

司会：次は蹄鉄の遊佐さんからお願ひします。

昔日の忙しさを思う

遊佐：私の場合はご承知のとおり昔は休むひまもないほど忙しいものでした。



加賀谷町長



泉谷時治



長谷川藤之助



金子喜三郎

のでしたが、今はもう衰微してしまつて、馬は南秋に二頭か、男鹿、能代、山本でようやく二十頭近くになります。それを家の息子らが処理しているわけですが、今から二十年か二十三年ほど前は、秋田県の大馬会、一等になり、全国大会で二等になり、牛の蹄蹄では優勝した経験もあります。

司会：金子さんはどうですか。

担任の先生の影響を受ける

金子：私は杉沢で生まれましたが、小さいときから工作が好きでした。これは学校の受持ちが伊藤一郎先生で、あの先生はそのよう面で秀れた方でしたので、先生の作品にはこれこんで工作が好きになったものと思います。

卒業したとき、孫ばあさんや、両親にすすめられて桶屋の道に入ったわけですが、一人前になったのは、師匠そのものだけだなく、先輩からいろいろ教わりましたし一方では、先輩たちの技術を盗むことにも努めたわけですが、私の信念は、ただひたすらいいものを作ろう、ということに柱にしてみました。

伝統技術を生かして

アイデアを練る

しかし、桶だけでは何となく満足できなかったで、二十三年ほど前から桶作りの技術を生かして変ったものを作ってみようと思つていました。

いろいろ試作しているうちに、桶の姿なものやら、なにやらわけのわからぬものになってしまった

が、それが活花用の花器になったり、いろいろな形で九十餘種類を数えましたが、木竹工芸というよりも時代に添うた桶に、五城目の伝統技術を生かして、一生をこれにかけてみたいと思つています。

司会：長谷川さんはどうでしょう

十三歳から家業を手伝う

長谷川：私もみなさんと同じで、家業なので十三歳の時から何の抵抗も感じないでやってきました。しかし、親父がフイゴを押して鉄に焼きを入れているときなど、家の前で私の友だちが遊んでいるのを見ると、つい外に見はれてしまうわけですが、親父が外をみてい

るというとき、息子が外をみていようと、どこをみていのかとよく大声でどなられたものです。

昔の技術が科学分析と紙一重

ところが当時教えられたことが今科学的に分析してみてもそんなに違いはなく、紙一重の差なわけが昔の人の技術というのか、勘に對しては頭が下ります。

なまくら焼きなどやっています。量産する場合はそれでもいいでしょうが、日本刀を焼くように火かげんが技術であり、それが伝統なのです。

大分以前は申し合わせ組合であったし、技術もお互いに隠し合つたもので、他の業者には公開しなかつたわけですが、昭和二十八年に鍛冶協同組合を結成して、お互いの技術向上のため

めに先進地視察をやりました。

司会：泉谷さんの方からひとつ。

十人兄弟でたんぼ二反歩

泉谷：私の家は、たんぼ二反歩に兄弟十人でしたので、高等一年で菅沢さんに弟子入りしました。

まだランブ生活でしたので、一年ほどランブのホヤミがきをやつてから本格的な仕事に入ったわけですが、朝は五時から、夜は七時、八時が普通で、夜業がないのは市日の前夜だけでした。

時代もいろいろ変つて、アルミサッシの流行を迎えています。二重が多いので、建具の注文枚数もあまり変っていないのが現状です。

豊富な話題に気が楽

司会：いつも座談会ときは、話題を引き出すのに苦労するが、今日はこの道のベテランだけあって、本当に仕事の好きな方ばかりなので、内容も豊富で、司会も非常にやり易い。

それでは、みなさんの仕事上、どこにポイントをおくのか、また自分の製品の特徴はここだという点、この点が最も苦労する点、支障のないところで公開してください。

天杉の不足が心配

泉谷：私は最近一番よかったことは、町長さんたちのおかげで立派な工場を建てることができたことです。

現在建具材料に秋田天杉を使っていますが、材料が不足になるのではないかと、それが心配の種です。

ではなかと、それが心配の種です。

司会：長谷川さんの仕事のポイント、作品のポイントなどどこにお

いてるか、ひとつ秘伝につながるところは割愛しても結構です。

人体と同じ

長谷川：打刃物でどこが一番重要なのかよく聞かれますが、これにはいつも困るわけです。例えば、人間の体でどこが一番大事なのか聞かれたようなもので、何ひとつ欠けてもこれは非常に不便なことで、どこが一番大事なことと、どこが二番大事なこと、打刃物で強い何とでもなり

ますと、仕上げになると思います。が、どこをどの程度の力でたたくかコツですが、これは言葉では教えられるわけでは、長年の経験からくる勘、知識の積み上げに頼るしかないわけです。

縦の線に曲線

司会：では金子さんから

金子：桶は丸いものだとする考え方がありますが、私はそれだけではおもしろくないので、縦の曲線もつけてみようというところから、ひょうたんとか花器にしても、それを特徴にしたわけです。

技術そのものは桶屋なわけですが、独得なものを作るとなれば、独得な用具が必要なのはハッキリしていますし、この町に打刃物鍛冶

があるから、私も製品の開発が出来るという強みがあるわけです。

他人からみれば、ただの桶屋にしかみえないでしょうが、五城目の伝統技術を利用して、流し場より上にあがることになった桶を床の間にあげ得るような桶をめざしたわけです。

司会：遊佐さんはすでに高いところから見ている立場にありますが後輩に一言ご意見を。

立派になった現在の馬

遊佐：畜生が相手なので技術といつてもうまく表現ができませんが、今の馬は昔と違って尻に座るにやのような立派な馬ばっかりで、力は強いし、蹄蹄も非常に難儀してやっているらしいんです。

司会：遊佐さんは、その当時忙がしくて仕事に追われていたかも知れませんが、蹄蹄でこたは手は抜くことができないというところはありますか。

馬の精神がわかるくらいになる遊佐：それはないわけじゃないんですが、馬を動かさぬコツがあるわけですが、手と足で馬足の筋をピンとおさえてしまつと、簡単に処理できます。馬にもいろいろあるわけですが、馬そのものが違えば、馬の性質もわかるし、馬の動きもわかる。すべてが馬と同一精神になつてしまふんです。だからけがもほとんどしないで、五十五歳まで仕事をすることができたわけです。

司会：坂谷さんの方からひとつ。

材料の乾燥がポイント

坂谷：さきほど金子さんも言ったとおり、われわれの製品はほとんど台所まわりですが、桶はタガがとれてしまえば使えないものにならないわけ、一般的な製作のポイントが材料の乾燥につきると思ひます。私だけが持っている特別な技術は、私だけじゃなくて、その点金子さんは一歩抜きんで、桶の技術を生かした作品に取り組んでいることには敬服しています。

司会：大変謙虚なご発言ですが、みなさんの腕は立派な方ばかりでみなさんが普通だと思つていて、とても、よそから見たらその技術は高く評価されていることも事実です。

永沢さんからは弓の製造行程を町内のみなさんは知らない人が多

飲酒運転追放無事故競争

期間を一年間に延長

飲酒運転追放無事故競争は、飲酒運転追放県民運動の一環として

毎年七月一日から九月三十日まで
の三カ月間行われてきた。しかし
飲酒運転による死亡事故および違
反は後を絶たず、県民生活に対す
る大きな脅威となっている。

このような現状から、県では交

通安全対策の最重要項目に飲酒運
転防止をかけた、この無事故競争
についても今後は一年間(暦年)
の競争に切り替えることにした。

▼無事故競争の方法

各市町村ごとに飲酒運転の追放

を競い合う。

▼期 間

毎年一月一日から十二月三十一
日まで。

▼順位の決定

飲酒運転違反者および飲酒運転
により交通事故を起こした者の住
所地の市町村別に、無事故競争の
期間中における違反および事故の
件数について、当該市町村の人口
に対する割合を算定のうえ決定す
る。

ひとあし早いもちつき

十二月十九日午前十時から五城
目幼稚園で、ひとあし早いもちつ
きが行われた。

これは五城目警察署のおまわり
さんたちが、園児たちのために計
画したものである。

もちつきは遊戯室で行われ、園



若いおまわりさんといっしょに

児たちはうすのまわりに二重に円
をつくり、今ではみられなくなっ
たもちつきを見学した。
また園児たちは実際にきねを持
つてもちつきをし、大喜びだった
つきたての八升のもちはおしる
こにしてみんなで食べた。
その後、おまわりさんが持って
来た映画を楽しんだ。

▼優良市町村の表彰

無事故競争の実施結果に基づい
て、優れた成績をあげた市町村に
対し、次の基準により表彰を行う

①飲酒運転違反および飲酒運転に
よる交通事故がなかった市町村

②人口比、対前年比等から成績が
優れていると認められる市町村

③企画、広報活動を活発に行い、
飲酒運転追放の意識高揚に大き
な役割を果たした市町村。

酒酔い運転の多い時期
乗るなら飲まずな



恋地スキー場開き

一月十日

一月十日午後一時三十分から五
城目恋地国設スキー場で、スキー
場開きが行われる。

恋地スキー場は、開設して以来
今年で七年目のスキーシーズンを
迎え、昨年度は念願のスキーリフ
トを設置した。毎年町民はもとよ
り近隣市町村から多数のスキー客
が訪れ、家族で楽しめるスキー場
である。

スキー場開きには、多数のスキ
ー場関係者が出席して、今シーズ
ンの安全を祈願する。また、スキ

ーリフトも以後本格的に稼動すこ
とになる。

なお、積雪のない場合は延期と
なる。問合せ先は役場産業課へ。

高校生のつどい

町内の高校生を対象として、高
校生のつどいが行われます。友達
を誘い合って参加してください。

日時 一月三日

午後一時～四時三十分

会場 広域体育館

内容 ステレオコンサート、フ
ォークダンス、球技、ゲ
ーム等

剣道けいこ始め

一月二日午前七時から九時まで
広域体育館三階体育室を会場に、
剣道のけいこ始めが行われる。こ
のけいこ始めには、小学生から一
般までの剣道愛好者が約百名参加
する。また町内の愛好者だけでなく、
昭和町や大湯村からも参加す
る。

自衛官を募集しています

昭和五十三年度二等陸海空士の
第四次募集を行っています。
詳しくは役場住民課まで

募集期間

昭和五十四年一月一日～

三月三十一日

(4ページより)

心しました。しかし、これは社会
一般の風習というのか、思想とい
うのか、時代層というのか、これ
からの教育の問題まで掘り下げて
考えていかなければならないよう
だなあと感じたわけです。

吉野杉の研究も

それから材料問題ですが、秋田
杉、秋田杉と大変心配されている
ようですが、私は全くなくなると
いうことはないだろうと思います
。五十六年六万立方になるわけ
ですが、この町でみなさんがお使
いになる天杉の量はそんなに多く
はないと思うし、またここで、吉
野杉というものを実験的に使うか、
使わなくとも研究されておったか
です。吉野杉がだめな場合はまた
別の方法を講じなければいけない
が、吉野杉でも秋田杉に準じた仕
事ができるとすれば、今後町とタ
イアップしてもいいですから、研
究していただければ大変良いので
はないかと思っています。

銀座松屋で桶の
総合展示をしたら

製品の販路が多少懸念されてい
るようですが、この町は秋田市も
近いし、東京も時間的にだんだん
短縮されてきていますから、ある
意味においてそんなに悪い産地で
はないのじゃないかと思うわけ
です。

ただ、製作者と販売者を別々に
したらよいものかどうか、農協さ
んなどとタイアップしたいという
お話でしたが、今年の四月から五
月に金子さんの作品を中心に、銀
座の松屋で展示会をやることにし
ていますから、そのとき、桶から
スタートした金子さんの作品とい

うもの、あるいはそれまでの過程
を説明するような形にしたらどう
いうものかなあと思ったってい
ます。桶の件については、坂谷さ
んともう一度ご相談してみたいと
思っています。

手づくりの団地は町のテーマ

この町は何といっても木を中心
とした、木をなんと生かしていく
のかということが、ある場合は鍛
冶屋さんになり、その道具を使っ
ての桶屋さん、家具、建具屋さん
それに大工、壁屋さんなどもみな
関連のあるところなので、手づく
りの団地を作ったかどうかという
ことで、町では一応のテーマを出
しているわけです。

これからは、機械生産も限界と
してやり、やはり手づくりが見な
おされてきている時世なので、折
角今まで培ってきたみなさんの方
の心身でもっている高いレベルを少
しも世間から認めてもらうよう
にわれわれも努力しますし、五城
目の町の方々からご認識いただい
て、海外旅行のおみやげが、メー
ドインジャパンであったという
ようなことのないように、みなさ
んの作品を五城目町の人々がまず
認識して、町民とともに自信をも
って話し合うことが、販路拡張の
要点ではないかと思うわけです。
いろいろな問題も多いと思いま
すが、さらに研さん努力を重ねて
いただきます。後に続く方々を
よろしくみなさま方からご指導し
ていただきたいと思います。

司会：お互いに芸に生きるものは
徹夜で語って語りつきなものは
ありますが本日はこのへんで座談
会を閉じさせていただきます。
大変つたない司会にご協力いた
だきましてありがとうございます。

決算認定 3千9百万円の黒字 9千円以上の請求役場で受付

米の売渡し状況は、十二月一日現在、政府買入限度数量十二万八千六百三十四俵に対し、出荷実績は、政府買入限度の割当分が、十二万五千六百六十六俵、余り米出荷分が、一万三千二百三十三俵、合せて十三万八千六百九十九俵となり、買入限度数量を一万五千六百六十六俵上回っている。

余り米一万五十六俵

この町に水田利用再編対策として割当られた転作面積一一三畝については、関係団体ならびに農家のご理解とご協力により、十一月の最終確認で、一一八、八四畝が転作達成率一〇五パーセント

交付金一、千五百四十四千円

転作され、割当面積を五、八四畝上回っており、転作達成率は一〇五％となっている。
作物別には、町の推進作物である大豆が、八三、一六畝で全体の七〇％を占めた。

・行政説明の中から

本年度から実施された水田利用再編対策の転作状況と、本年産米の出荷状況について。

十二月町議会定例会は、十二月十六日から二十六日まで十一日間にわたって行われた。審議された案件は、昭和五十二年一般会計決算認定など十三件で、決算特別委員会や各常任委員会で慎重審議の結果、原案どおりの可決をして終った。
五十二年一般会計の決算は、単年度黒字で三千九百万円を越し、五十三年度一般会計の予算は、このたびの補正額六千八百九十九万三千円を加えると、この町では初めての三十億円台を越す大型予算となった。
以下町長の行政説明、一般質問、議決された議案の主な概要を述べたものである。

上位等級米五八、二パーセント
この余り米の全量集荷については、過年度産米の在庫米の問題および本年産米が全国的な豊作も手伝って、政府買入限度数量の枠の拡大は非常にきびしい状況である。これに対しては、県との調整をとりながら、全量買上げを国に対して強力に要請していきたい。
政府買入限度内の出荷数量十二万五千六百六十七俵については、五十三年度産米から検査等級が変更、一等米の上位等級米が、七万二千八百九十九俵で、全体の五八、二％を占めており、この出荷済分を金額に計算してみると、二十一億五千八百六十九千円となり、さらに、余り米出荷分一万三千二百三十三俵を平均一俵当り、一万三千八百〇〇円



五城目TV開局記念に放送された若草色の五城目町

計算すると、一億七千九百七十一万七千円となり、合計二十三億三千三百四十六千円となる。

社会福祉協議会に慰労寄贈

新聞でご承知のとおり、魁新報社が辺地を中心とした公共的な活動にたづさわる団体に贈る四輪駆動車、スバルレオーネが、本町の社会福祉協議会に贈られたが、十一月八日役場前で引渡しを受けている。

この企画は、魁新報社が昭和五十一年から公募を行い、その応募者の中から毎年一台ずつ寄贈しているもので、本年、二十八応募団体の中から書類審査により、本町の社会福祉協議会が寄贈を受けることになった。

A K T、A B S五城目テレビ



道路整備が各地域でさかん

本年度町単独工事については、舗装補修工事の雀館線はか九路線、舗装新設工事の岩野奥通線はか八路線、道路改良工事の築地上線はか八路線、側溝改良工事の岩野高崎線はか三路線、下水溝改良工事の富津内川はか二路線など計画していた全工事（三五工区）の発注を終えそのうち二五工区は十一月末に完成し、残り十工区については、今月中あるいは明年一、三月の完成をめざして、それぞれ工事が進められている。

医療水準の向上にともない治療方法などが飛躍的に発達してきているが、一方では、その医療費が極端に高額化する傾向がみられ、被保険者の家計を著しく圧迫している現状である。
このような実態をふまえて、最も多く利用されている湖東総合病院と話し合いを進めた結果、関係の高額療養費については、そ

高額療養費請求に配慮

放送局は、馬場目薬師山頂付近に建設され、昨年NHKが放送を開始したのに続いて、A K Tは本年八月二十三日から、A B Sは十月十二日から送信を開始しているが、これによって馬場目地区、馬川地区、本町部の一部、富津内の高樋、高千地区などの難視聴世帯二千八百戸が鮮明な映像をみられるようになった。十一月十三日町民センターで、この開局式を行っている。

の請求を本人でなく、保険者である町あてに請求していただき、国保会計から直接病院の口座に払い込めるような事務的手段を検討しその実施に関しまして、ただいま協議を重ねているところである。

町道高千線明年から舗装

交通網の整備状況について申し上げると、町道高千線は県代行事業で、昭和五十年から今年度まで四カ年計画で、総延長一、三〇〇畝、巾員六、八畝、橋梁一基を含めた道路改良事業であり、総事業費千三百万円ですすめてきたが最終年度である本年度は、延長一八二畝、橋梁一基（一八畝）の築造工事を、十一月末に完成している。これで、この路線は全線が完成したことになり、明年度から、引続き舗装をしていきたい。

町単工事三十五区

本年度町単独工事については、舗装補修工事の雀館線はか九路線、舗装新設工事の岩野奥通線はか八路線、道路改良工事の築地上線はか八路線、側溝改良工事の岩野高崎線はか三路線、下水溝改良工事の富津内川はか二路線など計画していた全工事（三五工区）の発注を終えそのうち二五工区は十一月末に完成し、残り十工区については、今月中あるいは明年一、三月の完成をめざして、それぞれ工事が進められている。

や未執行見込みによって残る場合があるが、今後いただくことができるものがあればいただくために、積極的な行動を起していきたい。

議決された議案

▼議案第四十五号

教育長の給与、旅費および勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例制定

教育長の給与と改定を内容とする条例の一部改正。

本町の場合、教育長の給与については、その勤務の態様を考慮して、例年、一般職の職員と同様の取扱いで改正をできているが、このたびは次号議案により一般職の職員給与と改定が審議されることから、同時に本案を提出したものである。

改正のあらまし。

一、給料月額 二五一、四〇〇円 (現行二二七、九〇〇円)

・改正後の一般職の職員給料表一等級十七号給相当。

二、諸手当は、一般職の職員と同様の改正である。

三、改定の実施時期

昭和五十三年四月一日

▼議案第四十六号

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定

本町の一般職の職員の給与は、人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定および県人事委員会勧告による県職員の給与改定に準じて

県の指導のもとに改正を行っているが、今年度、国においては十月二十一日に改正法律が公布されて

おり、県では、十二月七日招集の

十二月県議会定例会に上程され可決しているが、本町でも十二月定例会に提案し、審議願ったものである。

○改正のあらまし。

一、給料の改正

・改定率平均三・四七パーセント
・平均給料月額 三三、三六円 (改定前二六、九一三円)

二、諸手当

①扶養手当、②通勤手当、以上に引き上げ改定を行い、③住居手当は現行のままとする。

④期末手当については、現行二、〇月分を一、九月分に引き下げ改正を行った。

▼議案第四十七号

字の区域の変更について

地方自治法第二百六十条第一項の規定により、本町内の字の区域変更(小倉地区)

▼議案第四十八号

工事請負変更契約の締結

(昭辰都市下水路)

六月町議会定例会で議決を得ている、五城目都市計画昭辰下水路築造工事について、事業費等の増額により契約の金額を「五百二十四万一千円」、増額した「三千五百九十九万一千円」とするための契約の一部変更議案である。

これにともなう工事増の内容は、都市下水路築造工事の延長三一、九メートルの増となる。

契約相手 有限会社 斉藤建設

▼議案第四十九号

昭和五十二年五城目町一般会計歳入歳出決算認定

昭和五十二年五城目町一般会計

計歳入歳出決算認定を求めた議案
昭和五十二年一般会計
・歳入総額
二十五億一千二百九万二千一八二円

・歳出総額
二十四億七千二百三万七千五百二円

・差引残額
三千九百四十五万五千一三〇円

・翌年度へ繰越
歳入については
予算現額二十四億九千二百四十七万九千四百円に対し、収入済額二十五億一千二百九万二千一八二円で、執行率一〇〇・一八パーセントである。(調定額二十五億一千六百〇八万七千九百〇二円に対する収入率は九八・八パーセント)歳出では予算現額二十四億九千二百四十七万九千四百円に対し、支出済額二十四億七千二百三万七千五百二円となっており、執行率九九・二パーセントである。

監査委員の意見書から
一、一般会計
・総 説
昭和五十二年一般会計歳入の総額は、二十五億一千二百九万二千一八二円、歳出の総額は、二十四億七千二百三万七千五百二円で、四億四千九百五十三万五千一三〇円の繰越金が生じた。

これを前年度と比較すると、歳入で二億九千六百六十二万三千三百五十七円の増加、歳出で二億六千六百六十二万九千九百九十八円の増加となっている。

昭和五十二年年度単年度で、三千三百二十二万四千二百九十九円の黒字となっており、歳入予算から見て町税が約二千三百八十四千円、外に千三百八十七千円の増加、財産収入の八

八万七千円外、四二五万三千円の減少。歳出予算から見て千九百八十四万一千円の減少である。

二、各説

○歳入

昭和五十二年一般会計歳入

予算現額二十四億九千二百四十七万九千四百円に対し、収入済額二十五億一千二百九万二千一八二円で、執行率一〇〇・七八パーセント、調定額二十五億一千六百〇八万七千九百〇二円に比較すれば収入率九九・八パーセントで、前年度と同じである。

収入未済額三九八万五千八百九〇円(前年度三二八万二千九百九十二円)不納欠損額九千八百三〇円であり、収入確保のため一層努力を望む。

一般会計における歳入の依存財源七、八、二パーセント、自主財源一八、八パーセントとなっている

収入済額、不納欠損額
町税における収入率九九・五三パーセントは現年度分九九・六八パーセント、過年度分四五・三三パーセントで前年度より〇・〇二パーセント増加しているが、一七六万三千八百六十二円の収入未済額があり、一層の努力を望む。

徴収の努力は認められる。
住宅使用料九〇・三パーセント集落再編成貸付金元利収入三九・三パーセントは、本人の利益のために生じた行為による料金であり徴収に一層の努力を望む。

町税の歳入状況は次のとおりである。
町税の歳入は予算現額三億五千六百五十八千円、調定額三億七千八百七〇万六千四百二〇円に対し、収

入済額三億七千六百九十四万二千五百八円、前年度九・五三パーセントの収入率、前年度九・五一パーセントより増加している。

○歳入

昭和五十二年一般会計歳入
予算現額二十四億九千二百四十七万九千四百円に対し、収入済額二十五億一千二百九万二千一八二円で、執行率一〇〇・七八パーセント、調定額二十五億一千六百〇八万七千九百〇二円に比較すれば収入率九九・八パーセントで、前年度と同じである。

収入未済額三九八万五千八百九〇円(前年度三二八万二千九百九十二円)不納欠損額九千八百三〇円であり、収入確保のため一層努力を望む。

一般会計における歳入の依存財源七、八、二パーセント、自主財源一八、八パーセントとなっている

収入済額、不納欠損額
町税における収入率九九・五三パーセントは現年度分九九・六八パーセント、過年度分四五・三三パーセントで前年度より〇・〇二パーセント増加しているが、一七六万三千八百六十二円の収入未済額があり、一層の努力を望む。

徴収の努力は認められる。
住宅使用料九〇・三パーセント集落再編成貸付金元利収入三九・三パーセントは、本人の利益のために生じた行為による料金であり徴収に一層の努力を望む。

町税の歳入状況は次のとおりである。
町税の歳入は予算現額三億五千六百五十八千円、調定額三億七千八百七〇万六千四百二〇円に対し、収

入済額三億七千六百九十四万二千五百八円、前年度九・五三パーセントの収入率、前年度九・五一パーセントより増加している。

昭和五十二年一般会計歳入
予算現額二十四億九千二百四十七万九千四百円に対し、収入済額二十五億一千二百九万二千一八二円で、執行率一〇〇・七八パーセント、調定額二十五億一千六百〇八万七千九百〇二円に比較すれば収入率九九・八パーセントで、前年度と同じである。

収入未済額三九八万五千八百九〇円(前年度三二八万二千九百九十二円)不納欠損額九千八百三〇円であり、収入確保のため一層努力を望む。

一般会計における歳入の依存財源七、八、二パーセント、自主財源一八、八パーセントとなっている

収入済額、不納欠損額
町税における収入率九九・五三パーセントは現年度分九九・六八パーセント、過年度分四五・三三パーセントで前年度より〇・〇二パーセント増加しているが、一七六万三千八百六十二円の収入未済額があり、一層の努力を望む。

徴収の努力は認められる。
住宅使用料九〇・三パーセント集落再編成貸付金元利収入三九・三パーセントは、本人の利益のために生じた行為による料金であり徴収に一層の努力を望む。

町税の歳入状況は次のとおりである。
町税の歳入は予算現額三億五千六百五十八千円、調定額三億七千八百七〇万六千四百二〇円に対し、収

入済額三億七千六百九十四万二千五百八円、前年度九・五三パーセントの収入率、前年度九・五一パーセントより増加している。

入済額三億七千六百九十四万二千五百八円、前年度九・五三パーセントの収入率、前年度九・五一パーセントより増加している。

昭和五十二年一般会計歳入
予算現額二十四億九千二百四十七万九千四百円に対し、収入済額二十五億一千二百九万二千一八二円で、執行率一〇〇・七八パーセント、調定額二十五億一千六百〇八万七千九百〇二円に比較すれば収入率九九・八パーセントで、前年度と同じである。

収入未済額三九八万五千八百九〇円(前年度三二八万二千九百九十二円)不納欠損額九千八百三〇円であり、収入確保のため一層努力を望む。

一般会計における歳入の依存財源七、八、二パーセント、自主財源一八、八パーセントとなっている

収入済額、不納欠損額
町税における収入率九九・五三パーセントは現年度分九九・六八パーセント、過年度分四五・三三パーセントで前年度より〇・〇二パーセント増加しているが、一七六万三千八百六十二円の収入未済額があり、一層の努力を望む。

徴収の努力は認められる。
住宅使用料九〇・三パーセント集落再編成貸付金元利収入三九・三パーセントは、本人の利益のために生じた行為による料金であり徴収に一層の努力を望む。

町税の歳入状況は次のとおりである。
町税の歳入は予算現額三億五千六百五十八千円、調定額三億七千八百七〇万六千四百二〇円に対し、収

入済額三億七千六百九十四万二千五百八円、前年度九・五三パーセントの収入率、前年度九・五一パーセントより増加している。

昭和五十二年一般会計歳入
予算現額二十四億九千二百四十七万九千四百円に対し、収入済額二十五億一千二百九万二千一八二円で、執行率一〇〇・七八パーセント、調定額二十五億一千六百〇八万七千九百〇二円に比較すれば収入率九九・八パーセントで、前年度と同じである。

収入未済額三九八万五千八百九〇円(前年度三二八万二千九百九十二円)不納欠損額九千八百三〇円であり、収入確保のため一層努力を望む。

一般会計における歳入の依存財源七、八、二パーセント、自主財源一八、八パーセントとなっている

収入済額、不納欠損額
町税における収入率九九・五三パーセントは現年度分九九・六八パーセント、過年度分四五・三三パーセントで前年度より〇・〇二パーセント増加しているが、一七六万三千八百六十二円の収入未済額があり、一層の努力を望む。

徴収の努力は認められる。
住宅使用料九〇・三パーセント集落再編成貸付金元利収入三九・三パーセントは、本人の利益のために生じた行為による料金であり徴収に一層の努力を望む。

町税の歳入状況は次のとおりである。
町税の歳入は予算現額三億五千六百五十八千円、調定額三億七千八百七〇万六千四百二〇円に対し、収

入済額三億七千六百九十四万二千五百八円、前年度九・五三パーセントの収入率、前年度九・五一パーセントより増加している。

計補正予算(第五号)
歳入歳出補正前額
二十九億六千五百六十三万五千円
・補正額 六千八百九十三千円
・総額 三十億三千四百一十二万八千円

▼議案第五十三号
昭和五十三年度五城目町国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

・歳入歳出補正前額
五億二千四百二十六万八千円
・補正額 四千万四千円
・総額 五億六千四百七〇万二千円

▼議案第五十四号
昭和五十三年度五城目町簡易水道事業特別会計補正予算(第一号)

・総入総出補正前額
三百二十八万九千九百九十九円
・補正額 四万二千円
・総額 三百三十三万一千九百九十九円

▼議案第五十五号
昭和五十三年度五城目地水道事業会計補正予算(第一号)

・収益的収入
六千二百六十一万三千円
・既決予定額 一千一十四万四千円
・補正額 七千二百七十五万三千円

・総 額
六千二百六十一万三千円
・既決予定額 一千一十四万四千円
・補正額 七千二百七十五万三千円

・収益的支出
既決予定額五千五百七十八万四千円
・補正額 一千五百五十五万五千円
・総 額 六千八百三十三万九千円

▼議案第五十六号
工事請負契約の締結

▼議案第五十七号
昭和五十三年度五城目町一般会計補正予算(第六号)

・報告第二号
公社の経営状況を説明する書類の提出

ブラジルから十九年ぶり

今は代理店経営の原田さん

二十二歳でブラジルに渡る

富津内富田出身の原田勇孝(41)さん(原田賢治郎氏二男)がこのほど、十九年ぶりにブラジルから里帰りをした。

原田さんは、昭和三十四年ブラジルのコチア産業組合が募集していた雇用移住者に応募したものである。農業が好きで、どうせやるなら大規模農業をめざそうと、青雲をいだいての渡伯であった。まだ二十二歳の若さであった。

ブラジルで旅の青春

コチア産業組合員の農場に身を寄せたが、一年ほどでそこをやめて、ブラジル奥地の一周をめざした。この国をよく知るためには、足で歩いてみるのが先決だという信念のもとに実行したそうである。

特別な貯えもない原田さんであったが、そこは一人暮らしの気楽さから、ある期間働いて一定の貯えができるかと奥地へ向って旅をするこのようなパターンを繰り返しながら、最も奥地のマツトグロス州のドウド市(人口二万三万位)までたどり着いたのは六カ月目であった。



誰に気がねすることもなく、自分の思いどおりに旅(原田さんは放浪の旅と言っていた)ができたので、その当時のことが今でも一番思い出深いものになっているとか。奥地を極めた原田さんは、またコチア産業組合員の農場に身を寄せ、トマト作りに精を出す。トマト作りは一人で四千五百本を担当するが、人の力では大変なことで、どうしても機械の力に頼らざるを得ないが、トマト一本一本に使用料を支払うシステムになっており大きな利益をあげることは無理であったし、もちろん一人立ちなどおおよびでなかった。

青雲の志転換

農場を経営したいとする夢は捨て難いものであったが、先輩たちをみて現実はそう生やさしいものではなく、土をなめるような難辛苦の生活を経た人だけは立派な農場を経営しているが、自分のような楽家、しかも一人身では手も足も出ないことが次第にはっきりしてきたのでいさぎよく職業の転換をはかりサンパウロ市に出て働くことにした。この街に出てからは、街頭販売

ただいま三児の親

など自分でやれるものならなんでもやってみた。今にして思えばかけがえのない体験であったという。そんな中でも、一九六八年(31歳のとき)に、日本式で言えばお見合みたいな形で結婚をした。愛妻の名は、日本語で静枝さん、ブラジル名ではナイールという二世の美人とか、職業は美容師である。両親は福井県出身で健在。



ブラジルの稲は人の背より高い。柳原繁氏提供

サンパウロ市で、日本のK鉄工代理店売店の共同経営者で十六人の従業員をかかえて、日本製農機具をブラジルの農家に浸透させている。このたびは、そのK鉄工の招待で日本を訪れたものである。

時間に管理されている日本人

十九年ぶりの故国の感想をたずねてみた。間ばつを入れずに、日本がこんなにせまいとは思わなかった。成田空港からしてちびっけである。もちろん道路は言うにおよばない。と一気に日本のせまさを強調した。

白と緑と灰色と

ブラジルの市街地を上からながめてみると、白い建物のそばに緑がみえる。それは庭つきの高級住宅街であるが、その裏側は灰色の地帯になっている。それは貧民街のシンボルカラーで、貧富の差の象徴でもある。失業者もまた多い。日本の不況とは程度が違う。原田さんは日本へ里帰りしてみて不安を感じたことの一つに、日本の農業をあげた。

せまいたんばに沢山の農家。政府が保護政策をとらず、貿易の自由化などでもしうものなら、目も当てられないだろう。これは遅すぎるが、今からでも万全の対策が政府の名のもとに実施されなければ、とり返しつかないことになるのではないかと、日本農業の在り方を心配していた。

町中に多種類の農協

それぞれの国柄で、農協の在り方もまた違うだろうが、ブラジルでは地域農協制はとっておられない。例えば、秋田市の農協が五城目町に支所を置き、五城目の農協が秋田市に支所を設けてもよい、町

中にいろいろな農協が競合するシステムをとっている。わが国で通用するかどうか疑問だが興味のかれる問題であった。

ブラジルは、農業に関する限り大國であり、日本はまた工業大國である。原田さんとしては、両國が密接な関係をさらに深めて、お互いの國の発展に役立ててほしいことを願っていた。

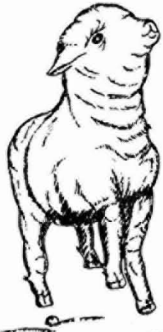
浦島太郎ではないけれど

最後にこの町の感想を聞いてみた。「あんまり変り過ぎて、自分の目を疑ったほどである。町中を過ぎたら富田部落に着いていた感じで、部落もまた変っていた。浦島太郎ではないけれど、こんなにも変ってしまうものかと、時の流れと國の底力に今さらながら頭の下の思いだ。しかしその反面、日本の國の町や村、都市はもちろん、開発つくされた完成品のような感じで、ブラジルとは好対照である」と語っていた。

次は是非家族で訪れたい

十一月十九日、一カ月余の期間をみての来日で、時間をもてあますのではないかと心配したが、滞在中の時間がなくて困った。

しかし、親肉や部落の人々、それに中学校当時のクラスメイトにも会えたり、言うことなし。よい思い出がまた一つ増えたことを、原田さんは心から喜んでた。次に来るときは、是非妻子を連れてきたい、と言葉を残して、第二のふる里ブラジルに旅立ったのは暮れもおしせまった十二月二十二日であった。



未年生れの抱負

ひつじ

1年の計は元旦にありといわれる。昨年が良い年であった人も、悪かった人も心を新たに、昭和54年をむかえたことと思う。今年は、12支では8番目の未(ひつじ)年である。むかしから「ひつじ年」は政治的にも経済的にも変化のはげしい年で、思いがけない事件や災害が起こっているようである。古代中国では、「ひつじ年」を思いがけないことの起こ

りやすい年として警戒したそうである。

しかし「ひつじ年」は悪いことばかり起こっているのではなく、歴史に残る芸術の天才があらわれたり、芸術運動が活発になる年でもあるといわれている。そこで、町内のひつじ年生れの人たちから今年の抱負を語ってもらった。心に決めたことが実現するすばらしい「ひつじ年」であってほしい。



ナイチンゲールの ような人に

今年は、始めてのあたり年です。羊といえば、みんなに好かれ、よく立つ動物です。私も、この



岡本 大石 英子

年に生れたのだから、今年こそは親孝行し、みんなに好かれる人間になりたいと思います。

小学校生活もあとわずか、その間に全力をそそぎたいです。

私の夢は看護婦になることなので、そのためには中学校でいっしょけんめい勉強しなければいけません。勉強は嫌いです。また、勉強だけでなく心のあたった人になるように、病人に好かれる看護婦になれるようにがんばります。

卓球の長谷川選手を めざして

今年十二歳、初めての当り年でもあり、中学校生活へのスタート



岡本 大石 格

の年でもある。

中学生になると「勉強」「部活動」の面できびしくなるので健康に心がけ、いっしょけんめいがんばり、自分自身を高めて行くこ

とされている。

ぼくは、中学校へはいったらという夢がある。それは卓球部にはいて選手として活やくすることである。コンピュータの現代であるが自分の力で少しの間違ひもなく、あの小さな白球を思いのままに動かし、一秒のすきもないあの力強くすばやい行動力を身につけたい。

ぼくは、卓球日本一の長谷川選手のように力強さと根性を持った人になることをめざし、中学校生活を送りたい。

野球を続ける

ぼくが生まれたのは、昭和四十二年十月二十二日で、半年でした。今まで十一年間くらして、うれしいこと、かなしいこと、楽しいこと、というふうに、いろいろな



浅見内 工 藤 弘 幸

出来事とともに、ここまで成長してきました。

今年、二回目の羊年をむかえることになりました。

今までに、一番に残っているのは、郡の野球の試合のことです。ぼくは、四年生のときから試合に出ました。

五年生になってから、サイドを守り試合に出ました。三回戦にぼくの大きなエラーで負けてしまいました。でも、これからは野球を続けたいと思っています。

今年、小学校最後の年だから、今までの勉強のしかたとは、変えていきたいと思っています。これ

からも、羊のように、元気に生きていきたいと思っています。

最上級生として

わたしは、羊年生まれです。しかしわたしは、ほんとうの羊を見ることがありません。羊はともお



千 日 舘 岡 恵 美

となしくて、やさしい動物だそう

わたしは、六年生になる年で、小学校最後の年です。で、最上級生として、全校の係活動を生けんめいやって、学校のために一生けんめいがんばってりっぱな学校にして行きたいと思っています。

またわたしは、女の子らしく、羊の毛を使って、毛糸のあみものをたくさんあんで、家族に、着せたいと思っています。

そのほか羊年は、色々やってみたいことがたくさんありますが、羊のようにおとなしくこの一年を過ごしたいと思っています。

健康に気をつける

私は羊年に生まれました。今年、私が生れた二回目の羊年です。ひつじという動物はじつさい見

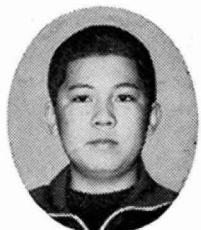


湯ノ又 沢田石 美 幸

た事はありませんが、この間テレビでみました。ひつじは白い美し

年をおくりたい。

五十メートルを泳ぐ



大 川 八 柳 広 和

今年、ぼくたちが生れたひつじ年なのでいろいろなことを実行したいと思っています。

一つは、昨年プールが完成したので目標の五十メートルを泳いでみたいと思っています。

二つ目は昨年実現しなかった、野球の郡大会で優勝すること。

三つ目は、体育館に飾った幕で六年生らしくりっぱな学芸会を行いたいと思っています。

ひつじ年それは、ぼく達が最高学年の六年生なので、下級生の手本になるような行動をしたいと思っています。

それに、大川小学校はりっぱなよい学校だとほめられるように、努力します。

三つの目標

ひつじ年しの人というのは、つねに理想や希望をもっている人が多いといわれている。

今年、私の年なので、今までの



大 川 伊 藤 真 由 子

うち最高の年になると思います。一、心もつよく体もじようぶに

どんなことにも、自信と勇気をもち、いろいろなスポーツをして体をきたえたい。

二、仲よく助け合う
友だちをたくさんつくり、元気に楽しく遊びたい。

三、ねばり強く最後までやりぬく
どんなことにも、フアイトをもって、最後までやりとおしたい

この三つを今年の目標にして、一九七九年を楽しく、勉強、スポーツにもがんばり、最高の年にしたいと思っています。

新しい年に向けて



水 沢 越 高 和 美

昨年は私にとっては全く、健康上でついでない年であった。四月に胃潰瘍で一カ月余り入院し、また十二月には盲腸炎で入院生活を送った。周囲の人々から戒めやら見舞の言葉をもらうたびに、自分の病気が恨めしい思いに駆られ、健康の有難さがイヤという程身にしみた年でもあり、職場の人達や自分の仲間に、多大な迷惑をかけてしまった年でもあった。

さて今年は自分の当り年かと言って特別に騒ぎ立てて、あれもやろう、これもしようと思う望も、うとは思わないが、ただ私の今年の目標の一つにあるのが地域青年の総結集を目指す事だ。

私は馬場目青年会に入会して三年、今は会員の仲間作りを進めているが、仲々思うようにいかないのが現状である。わずか三年の間

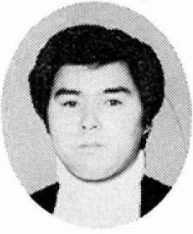
だが青年会員として活動してきて、さまざまな事を感じてきた訳だが会運営を学ぶにつれ、いろんなつまづきもあった。

私達はそれぞれが職場を持ち、一生の仕事として自己の繁栄を図ろうと努力している。そんな生活のリズムの中で、心を分ち合う仲間が身近にすることに気づかず、フツとよそ見をしてしまう事がある。そういった地域青年にどんな働きかけ、おらが五城目を愛する仲間作りを大いに進めてゆきたいものである。

それとともに昨年の教訓を生かし、とにかく病気をしない事に努め、病欠ゼロを目指す事も忘れずに心掛けたものだ。

歳月はまた前進した。しかし個々の人間はやはり最初から初まる事を忘れず、一日の価値観をも一度見直し、急がず、しかし休まず、この一年間、日々精進を続けたものだ。

社会の落伍者にならぬように



杉 沢 松 橋 敏 道

私も社会に出て早いものでもう五年になりました。

私の職業は営業であり毎日夜遅くまでセールスサービス、にあけ

五城目町も町民センター、広域体育館、中央通り、アクト開発：都市計画の真最中、人口減などいろいろ問題はあるにせよ、十二年前とは比較にならない程の変わり様だと思ふ。

私を含めて五城目町民性を干支(えと)にたとえるなら羊に該当させたい。良く云えば温厚で従順、悪く云えば勇気のない無関心な羊かもしれない。この町に今何が必要かと問われたら私は勇気ある行動をとる若者と答えたい。それは政治であれ商工業であれ農業であれ各団体であれ全てに通じると

人生ど真中



七 倉 渡 辺 誠 一

私の業界も二年前までは良かったけれども、今は不況でなかなか思うようにいかない状態です。しかしスポーツに青年会活動において、同世代の仲間達とかかわりあいを持つ中で、仕事に対する熱意をもやし続けている私です。

そして、五十四年度は羊年なので、社会の落伍者にならないよう一生懸命頑張りたいと思っています。

あせらずのびのびと



御 蔵 町 佐 藤 憲 夫

思う。自分の利害関係、環境、周囲にとらわれず、せめて勇気ある行動に対する勇気ある拍手を送る町民性になってほしい。そこから新しい若者が生まれ、新しい五城目町が生まれてくると思う。そんな五城目町が私の願いだ。

× ×

三十六才。それはまさに「人生のど真中」人生の中で最も大事な岐路なのかもしれない。羊さんには申し訳ないが、ジーンズと鍋を大いに食べてスタミナをつけ飛躍の年でありたいと念じている。

ひつじ年生れの私に三度目の当り年がやってきた。毎年のことであるが年の始めはやはり何か引きしまるものを感じる。と同時に前年を振り返って、充実した年だったと思うことはなかなかないものだと思ふ。

元旦に友よりの年賀状でその近況を知り、「おっ！出世したなああいつがなあ……」と思ったり、「ああ、彼はまだこつこつと地味に一つの目標に向かって進んでいるんだなあ」と思ったり。そしてまた、三人目の子供も女の子で、またと告げる友の苦笑する顔が浮かんだりする。どの賀状も奥底には「本年も頑張ろう」と言っているように思える。

本年はあたり年という一つの節目の年でもあり、我がひつじの如く伸び伸びとやってみたいと思う。ともすれば当面の小さな事にのみ目を奪われ、本来の歩みが停滞しがちにならないよう、また何かしらやらねばという責任感から「あせり」をなくすよう努めたものだ。

営農計画をたてる

友の賀状に励まされながら、また友を励ましなが、本年もちょっとだけ豊かになりたい。

「今年こそは」の意気込みで新年を迎えるのは毎年のことですが、今年は特に、当り年に銀婚式と人生の中の一節として、意義ある年であると共にあらためて生活を見直し、これからの人生を考えなければならぬと思う。

忙がしい毎日を過して来て、今ふりかえて見ると、農家の長男に生れ高校卒業と同時に農業に専念した。当時は、増産増産で若い者はグループを作り、研究会や、発表会を開いたのが昨日のように思えてならない。

しかし、現在の農業を取りまく情勢はきびしく、米の過剰ということで水田再編対策事業がはじまった。この事業も今後十年の長期にわたる事業であるという。この



上 高 崎 三 浦 俊 蔵

ように目まぐるしく変わる農業情勢の中で、先祖が手に豆、顔に汗し営々と耕して来た農地をいかにして守るか……

今年もまた経済事情をはじめ多くの面で試練の年のようにある。「一年の計は元旦に有り」今年こそ、営農計画、生活設計をじっくり考えたいと思う。

集会所建設を実現したい



畑 町 長 谷 川 次 郎

昭和五十四年、私たち大正八年生または羊の当り年でもあり、また厄年でもある。

光陰矢の如しとはよく言ったもの、過ぎし日を振り返れば、喜怒哀楽、その全てがその時々懐しい思い出のひととき、ふと感じにひたるひとときもあるこの頃……

毎年の事ながら、年頭には今年こそと思いつつも、いつの間にか無為に過しての繰り返しのようにだ。

しかし今年こそ是非ともすること





おしらせ

健康大学開講式

一月十二日

一月十二日午後一時から町民センターで、健康大学の開講式が行われる。

開講式では、加賀谷町長が「五城目町の現状と将来」と題して講演を行う予定になっている。

開講式終了後第一回の講座が開設される。講座名は「成人病予防講座」で、五城目町における現状について講義がある。

善意銀行預託者

十一月二十七日
五万円 上山内 淡路 光男
(亡母カネ様の香典返しとして)

十一月三十日
衣料品セーター外 60点
小池町 渡辺 靖彦

十二月四日
二万円 紀久栄町 高橋 富雄
(亡父富吉様の香典返しとして)

十二月五日
一万円 上山内 伊藤 比内
(亡母サキ様の香典返しとして)

十二月五日
一万円 新畑町 福島 啓次
(拾得届けした報労金を寄附したもの)

・プラモデル 百八十個
新畑町 嶋崎 正三
・十二月十二日
一万一千七十九円
五城目町農協婦人部若妻部
(バザーの収益金を寄附したもの)

老人ホームによせられた善意

十二月二十二日

慰問
秋田県立五城目高等学校
JRC会員

十二月二十二日
需気アイロン 二台
秋田県経済連

十二月二十三日
ライオンスナック
マルカン商事株式会社
(秋田市新仁井田字中新田)

十二月二十五日
煙草
日本専売公社秋田支局

誕生

おめでと

ございます



岡本 佐々木真由子 10、24 長女

岡本 伊藤 英明 10、24 長女

古川町 近野 瑞穂 10、25 二男

昭辰町 一関 卓 10、25 二女

畑町 佐藤 大志 10、25 長男

黒土 石井 達也 10、28 長男

金男 喜美子 10、28 長男

おくやみ申し上げます

十一月

二日 伊藤 末吉 74 北々口
三日 工藤 セツ 67 浅見内
五日 高橋 富吉 83 古川町
六日 大石 ハシメ 51 下山内
八日 島山 ソノ 88 上山内

十二月

二日 村上 庄蔵 69 下高崎
十一日 原田 トキエ 78 富田
十三日 加藤 テツ 82 西野

(11ページより)

しなければならぬことが多い。特に町内会長の要職をあずかっている私としては、次のことを実現したい。その第一は、今年の町部祭典当番町として我が町の町部祭典が当番町である。祭典行事、余興のありかたについては種々論議されたりしているが、私は古くからの伝統行事である祭典にたまたまなく郷愁を感じる。みんなに喜ばれる当番町として全うしたい。

次に、当町町内に集会所がないのでこれを建設したい。このことは町内二百十五世帯の切実なる願望でもある。町当局にも御協力をお願い申し上げながら、町内会としても相協力し、早期実現を期し努力したい。今年は当り年、最良の年にしたい。

心の財産を

豊かにしたい



高崎 武田 新市

あけましておめでとようございませう。私はこの言葉を交わしあえる新しい年を迎えて、今まで何がなんだかわからないうちに、還暦を迎えたことに気がつき、今年こそは当り年であるようにと祈りたい。十二支の運勢から見ると未年生れの人には「人をあわれみ」「高ぶらない」「美点もあるが」「取超苦労」「遠慮勝ち」「慎重過ぎておく病」があるとか。この中の美点であるところの人を災害から守り「人をあたかくしてやる心」が

四十年の間、消防の一員として務めさせて頂いた所以(ゆえん)かも知れない。

毎日朝起きて、自分の居間の椅子に座って、五城目森山の清英姿を眺めながら、今日も五城目町には「火災が起らないように」と祈る心と同時に、私も森山のような雄大にして豊かな姿になりたいと念じながら、平凡な私には、なかなかすべてがそうはゆかないのである。

生れてからの今までの戦前、戦中、戦後の六十間の自分を振り返って見て、すべてのことに關して、原点を掴(つか)み出(き)わめ、還暦から新しく踏み出す年にしたいと思つて居ります。

世の中のままならぬは自分だけではないものと思ひ、事に処しては羊のごとく反する(かみこなす)し、心の財産を豊かにして、暦みがいりをした私の将来に向う新しい年を進みたい。

よしやつづれを身にまとい腕(かえな)は塵にまみれるとも
心の花の香らずば
いかでか永久(とほ)に榮えぬ



多くの人と話し合う

私は八郎湯から大川に嫁いでまいりました。以来、わら工品、精米、ラムネ、サイダー製造の商売で、毎日が忙しさを連続でした。戦中戦後の混乱期は、子供達を



大川 加藤ハナエ

育てる苦労の日々を過ごしてきました。喜びも苦しみもいっしょにして、頑張りました。

やがて子供達も大きくなり、長男に嫁がきてくれ、家の仕事も楽になりました。それで、それから安心して婦人会や民生委員の仕事にうちこめるようになりました。生活保護や老人ホームの慰問などの務めを大切に、年月なかきにしないうちでやってきました。そして昭和五十四年、私は還暦を迎えました。健康で長生きでき、還暦の御祝いができたことは感謝にたえません。

「還暦から生れ変わって、また社会福祉のために一生懸命頑張りたい」と思っています。多くの人たちと話し合い、大きな仲間づくりをし、末長く楽しい人生を過ごしたいと考えています。

訂正

十二月十五日号の一月のごみ収集日に一部誤りがありましたので訂正しておわびいたします。
築地町、畑町、新畑町、矢場崎町内の四回目のごみ収集日が十七日とありましたが二十七日の誤りでした。